

東久留米市立第三小学校 第2学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・促音や拗音、長音を正しく書き表すことに課題が見られる児童が約2割いる。 ・文章を声に出して読むとき、すらすらと読むことに課題がある児童が約1割いる。 	学習活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・「書いたら、見直すこと」をねらいにおいた授業を行う。見直しのポイントを明確にしたり、習慣化したりすることで、9割の児童が、仮名を正しく書き表すことができるようにする。 ・音読の課題に習慣的に取り組ませるとともに、判読、追い読み、丸読みなどの読み方や音読対話などの活動の工夫を取り入れ、学年相応の音読技能を全児童に習得させる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・補数関係やたし算ひき算の演算に課題が見られる児童が1割いる。 ・文章から題意を的確に読み取り、正しく立式することに課題が見られる児童が2割いる。 	問題設定の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・具体物の操作や視覚的な資料提示を通して、児童の理解を支援する。 学習活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・補数を正しく求める反復演習に取り組み、全児童が暗算で正しく計算できるようにする。 ・問題文中の手掛かりとなる言葉に着目させながら、繰り返し演習問題に取り組み、9割以上の児童が正しく解けるようにする。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然や社会とのかかわりについて気付いたり表現したりする力に課題のある児童が約2割いる。 	指導計画の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・教科横断的に取り組める指導計画をもとに、国語科の学習とのつながりを、教員と児童とで共有して意識的に取り組む。 課題設定の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・実際に見たり触れたりする機会を計画的につくる。町探検などの実体験を伴う活動を複数回設け、地域や地域の人々とのかかわりを増やしていく。 ・ねらいに応じて、児童の思いを言語化して振り返る機会を設ける。9割以上の児童が気付いたり表現したりすることができるようにする。(発表・ワークシート等)
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・走る、跳ぶなど、全身を使った運動に課題がある児童が約2割いる。(自分の思う通りに体を動かすことが難しいと考える。) ・投能力が都平均値を下回る児童が約4割である。 	指導計画の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・準備運動の中に年間を通して、さまざまなコーディネーショントレーニングを取り入れ、運動感覚を向上させる。 ・計画的に(毎学期)投能力を高める運動遊びを各学期の中に取り入れ、8割以上の児童がソフトボール投げの都の平均記録に到達するようにする。